

令和6年度

文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

愛知県犬山市

自治体名：愛知県犬山市

担当課名：文化推進課

電話番号：0568-44-0352

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	7 5 km ²
人口	7 1, 3 3 4 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	1, 8 7 4 人
部活動数	1 3 部活 (文化部活動数)
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

【現状】

- ・4月から3月までの休日において、専門的なスキルを有し、生徒への技術指導が可能な地域の指導員を市が委嘱し、市内4中学校の実情と希望により派遣している。
- ・このことにより、顧問や生徒の細やかかつ具体的な指導ニーズに対応し、指導員不足の解消と同時に、継続的で質の高い中学校部活動の環境整備に貢献している。
- ・実施場所は主に学校であり、楽器や鍵の管理などは、部活動の顧問が行っている。

【課題】

- ・部活動指導者を派遣することにより、教員の技術的な負担は軽減されているが、主な活動場所が学校のため、週末において最低1名の教員の出勤が必須となっている。



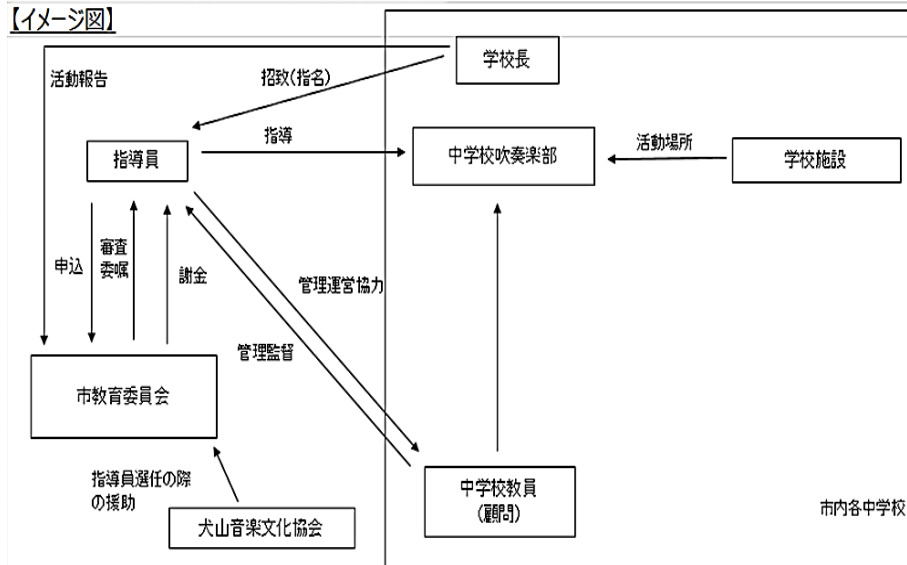
2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）

拠点校名：城東中学校を含む犬山市内4中学校

【イメージ図】



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校教育課…部活動改革の主管、学校との調整・連携、学校に関する事項について
- ・文化推進課…中学校部活動指導員への謝金支払い、派遣状況の把握
公共施設との連携

◎首長部局

- ・経営改善課…予算措置

年間の事業スケジュール

令和6年 2月 第1回犬山市部活動地域移行検討委員会開催

令和6年 4月 中学校部活動指導員の委嘱、指導員派遣

令和6年 6月 犬山市部活動地域移行検討委員会規則制定

令和6年 10月 第1回吹奏楽部部活動顧問との意見交換会実施

令和6年 12月 ・犬山市部活動地域移行検討委員会開催
・関係課と市内中学校活動場所視察
・第2回吹奏楽部部活動顧問との意見交換会実施
・第2回犬山市部活動地域移行検討委員会開催

令和7年 1月 令和7年度地域移行について入学予定の中学生の保護者へ通知文を发出

令和7年 2月 ・令和7年度「休日合同バンド」の実施に向けて関係課と打合せを実施
・第3回犬山市部活動地域移行検討委員会開催

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4 校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1クラブ（吹奏楽部）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	25 人	全体の運営スタッフ数	－ 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
－	市教育委員会	吹奏楽	月 2～3 回	実施校による	吹奏楽部員	R6.4月～R7.3月	主に学校	25 人	市担当者2人	無料	部活動

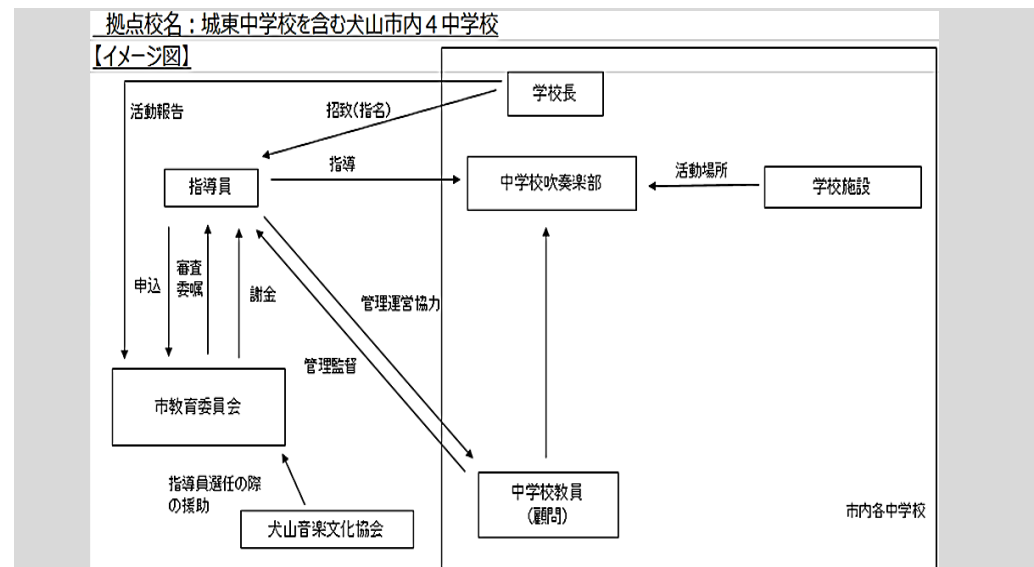
2.実証内容と成果

主な取組例

● 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	吹奏楽
運営団体名	市教育委員会
期間と日数	吹奏楽：月2～3回程度
指導者の主な属性	中学校吹奏楽部活動指導員
活動場所	主に学校
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	無料
保険料	指導者は犬山市民活動災害補償保険に加入のため負担無し

● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

● 指導員 25名

役割：生徒へ専門的な指導を行う。

● 中学校教員（顧問）

役割：指導員の派遣依頼及び市教育委員会への実績報告。

教室の会場施設や備品管理等を行う。

● 市教育委員会

役割：指導員の委嘱、中学校吹奏楽部活動指導員派遣の実施。

中学校教員より提出された報告書をもとに指導員への諸謝金の支払い。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・市内4中学校の吹奏楽部の顧問を一堂に会して、中学校吹奏楽部の地域移行に必要なルールの策定（鍵の管理、施設・設備、備品等）等について、打合せを実施した。
- ・犬山市部活動地域移行検討委員会で、生徒にとって望ましい部活動の在り方、部活動の地域移行等について審議している。

取組の成果

市内4中学校の吹奏楽部の顧問との打合せを実施したことで、現状と課題の把握をすることができた。
そのことにより、令和7年9月～令和8年8月に予定の市内中学校合同の「休日合同バンド」を移行する準備を進めることができた。

今後の課題と対応方針

- ・令和7年7月には休日合同バンドの参加人数の集約、会場校を決定していく。
- ・会場校以外の生徒や教員でも開錠できるように、鍵の管理方法をどうするかが課題となっており、市公共施設での管理等を導入していく方針。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

・市内4中学校の実情と希望により派遣することで、専門的な指導ニーズに対応し、吹奏楽の技量向上と同時に、継続的で質の高い中学校部活動の環境を整備している。

指導員の人数

25名

指導員の年齢構成

10代	0名
20代	3名
30代	1名
40代	7名
50代	7名
60代以上	7名

登録者属性

吹奏楽部において使用する楽器の演奏を職業として活動した実績があり、かつ、中学校等の部活動において5年以上の指導経験がある者。または楽器演奏に堪能である者。

種目

吹奏楽

資格有無

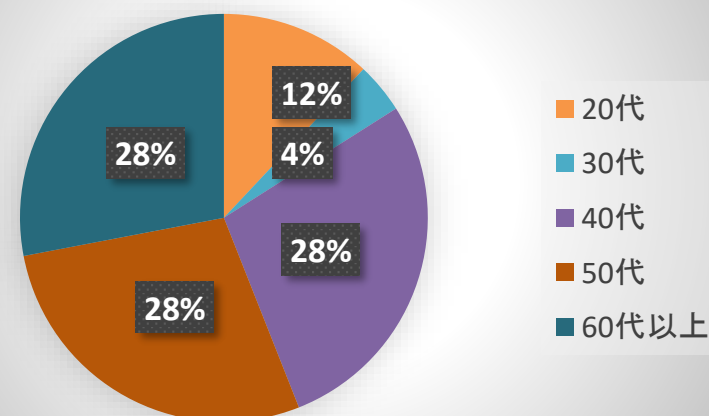
- プロ指導員：吹奏楽部において使用する楽器の演奏を職業として活動した実績があり、かつ、中学校等の部活動において5年以上の指導経験がある者。
- 一般指導員：以上に該当しない者で楽器演奏に堪能である者。

取組の成果

専門的な指導を受けられることで、生徒の演奏技術の向上につながっている。また、顧問が全ての楽器を指導することは難しいため、顧問の指導支援につながっている。

ただし、指導員による指導が教員の多忙化の解消には大きくつながっていないという課題がある。

指導員の年齢構成



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保／ウ：関係団体・分野との連携強化／エ：面的・広域的な取組／オ：内容の充実

取組事項（イ）

・市内4中学校の実情と希望により派遣することで、専門的な指導ニーズに対応し、吹奏楽の技量向上と同時に、継続的で質の高い中学校部活動の環境を整備している。

取組の成果（イ）

専門的な指導を受けられることで、生徒の演奏技術の向上につながっている。また、顧問が全ての楽器を指導することは難しいため、顧問の指導支援につながっている。

取組事項（ウ）

・犬山音楽文化協会や中学校と連携し、新規に指導員として登録を希望する者に対して、研修・面接・採用などを行い、また、地域移行に関する方針を共有し、理解を深めている。
・部活動の顧問や指導員との懇談で、地域移行に関する共通認識を深めている。

取組の成果（ウ）

中学校との連携により、令和6年度は新規指導員登録者が2名となり、新たな人材の確保ができた。

取組事項（エ）

・休日に活動している市内すべての文化部活動を地域移行できるように、対象となる吹奏楽部の地域移行に向けた整備を進めた。

取組の成果（エ）

・中学校によらず拠点校を1校決め、令和7年9月から「休日合同バンド」への移行に向けた整備を進めることができた。

取組事項（オ）

・特定の楽器に偏らないよう、講師の充実を図った。
・有資格者や実績のある講師の指導により、演奏レベルの向上を目指した。

取組の成果（オ）

・令和6年度には新たに2名の指導員が加わり、指導可能な楽器の幅が広がった。

今後の課題と対応方針

指導員の指導時間や謝礼金の上限が決まっていることが本事業での課題となっているとの意見があった。また、指導員による指導が教員の多忙化の解消には大きくつながっていないという課題がある。

教員の指導時間の減少や多忙化の解消につながっていくよう、令和7年9月から実施となる「休日合同バンド」へ移行していく方針。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等 / ク：その他の取組

取組事項（キ）

- ・市内4中学校の音楽室で実施している。
- ・市の施設での活動も案には出たが、生徒の施設までの移動距離や楽器の保管など問題が多いため、完全に外部講師に任せることは難しい。
そのため拠点中学校を決め地域移行を進めるため、各校を訪問し活動場所の視察を実施した。

取組の成果（キ）

- ・市内4中学校を訪問し、理解を高めることで、学校の活動実態を把握することができた。
- ・令和7年9月からの「休日合同バンド」の実施に向け、拠点校を決め、地域移行の整備を進めることができた。

取組事項（ク）

- 人材確保のため、犬山音楽文化協会に頼るだけでなく、応募があった場合には研修などを実施し、外部指導員の確保に努めた。
- ・令和7年9月からの「休日合同バンド」の実施に向け、他校の吹奏楽部顧問や指導員が拠点校の鍵をどのように管理するか検討を進めた。

取組の成果（ク）

- ・令和6年度には新たに2名の外部指導員が加わり、指導可能な楽器の幅が広がった。
- ・拠点校の鍵については、暫定的に市内公共施設で管理するように検討を進めた。

今後の課題と対応方針

- ・地域移行を進める中で拠点校が決まり、市内中学校の吹奏楽部顧問が他校で活動することとなる。拠点校の開錠を他校の顧問が行うと想定されるため、鍵の管理方法などについて暫定的に市内公共施設で管理し、運用方法の検討を続けていく方針。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- ・楽器の難易度や技術レベルに応じて、希望する指導員が招致できる人材を確保（委嘱）し、ニーズに対応した派遣を実施できた。
- ・年間の指導時間・活動時間として1校あたり平均63時間程度確保することができ、演奏レベルの向上を図ることができた。
- ・市内4中学校の吹奏楽部の顧問を一堂に会して、中学校吹奏楽部の地域移行に必要なルールの策定（鍵の管理、施設・設備、備品等）等について、打合せを実施、また犬山市部活動地域移行検討委員会で、生徒にとって望ましい部活動の在り方、部活動の地域移行等について審議した。そのことにより現状と課題を把握できた。
- ・「休日合同バンド」の移行に向けた準備を進めることができた。

●成果の評価

- ・部活動指導員が特定の楽器に偏らないよう、指導員の充実を図り、有資格者や実績のある指導員の指導により、演奏レベルの向上を図ることができた。
- ・令和7年9月から「休日合同バンド」への移行の目途がつき、地域移行に向けた整備を進めていくことができた。

●今後に向けて

- 楽器の難易度や技術レベルに応じて、希望する指導員が招致できる人材を確保（委嘱）し、ニーズに対応した派遣が可能となる体制を確立する。
- ・年間の指導時間・活動時間として、1校あたり130時間程度、市内4中学校で520時間を確保する。
 - ・市行事や地域イベント等、地域での発表の場を設け活動の成果を披露すると共に、地域移行に協力可能な人材を発掘し「休日合同バンド」の運営スタッフ等へつなげる。
 - ・「休日合同バンド」への移行を進めていく。

2.実証内容と成果②

参考資料（活動写真）



【パート練習の様子】



【金管パート練習の様子】

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

指導員の委嘱、派遣の実施（令和7年4月～令和8年3月まで）

